1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2023 年 4 月 23 日発行　　SSKR 通巻第 9761 号

SSKR

にじの会だより　Vol.85

社会福祉法人　にじの会
理事長　石崎　優仁
〒181-0015　東京都三鷹市大沢１－６－３
TEL 0422-39-2411
FAX 0422-39-2412
ホームページ：nijinokai.org

第 17 回にじの会文化行事

＜わくわく和ライブコンサートと音楽交流会＞

第１７回にじの会文化行事を３月３日（金）に三鷹市公会堂光ホールに於いて４年半振りに開催しました。第一部は東北の民族歌舞団わらび座による「わくわく和ライブコンサート」の公演でした。今回は音楽中心のプログラムで、日本の民謡を中心に華やかで素敵な演奏や踊りを堪能することができました。花笠音頭の傘を使った艶やかな踊りや、盆舞のはらはらドキドキする演技など、見ているだけで魂を揺さぶられるものがありました。観客とステージが一体となって楽しむ工夫も見られ、会場との一体感を忘れない演出は、わらび座ならではの舞台でした。

第二部の音楽交流会は、大沢にじの里の工房えがお・たいようが「なないろ」を、にじアートが「ひとりじゃないよ」を楽器演奏で、未来工房は「にじこい音頭」で踊りを披露し、最後に皆で「365 日の紙飛行機」を歌って終わりました。一生懸命に練習を重ねてきた成果を発表することができ、広い会場で皆で歌うのは実に久しぶりのことだなあと感無量でした。

今回は、にじの会オリジナル曲（なないろ、ひとりじゃないよ）を披露する機会でもありました。昨年 10 月頃から作曲、作詞、振り付け、それぞれ担当を決め、少しずつ制作を始めて完成したのは１月の中頃でした。創作時の苦労は多々ありましたが、にじの会スタッフの「利用者支援への思い」を形にすることができ、また外に向けて発表する機会があったことは私達スタッフにとっても幸運なことであったと感じています。これからも良い舞台に触れながら、自分達の文化についても、利用者の皆さんと共に見つめていけたらと考えています。

（文化行事担当　羽石　敏）

1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2023 年 4 月 23 日発行　　SSKR 通巻第 9761 号

第９回ウォーキング大会

暖かい春日和の４月６日（木）「第９回にじの会ウォーキング大会」を開催しました。当初、翌日の４月７日（金）での開催を予定しておりましたが、雨予報のため急遽１日前倒しでの開催となりました。急な変更とはなりましたが、安全に楽しいイベントを開催することができ、各工房新たな顔ぶれで新年度の良いスタートを切ることができました。

今回も行先は各グループの歩行ペース等を考慮して設定し、「神代植物公園」、「野川公園」、「武蔵野の森公園」の３コースとしました。また、今回からは公園側の感染対策注意事項も無くなり、久々に規制のない状況下でのイベントとなりました。今後のイベントも今回と同様に規制のない状況を想定し、例年以上により楽しく有意義なイベントとなるよう企画を行っていきたいと思います。

（支援専門運動：髙橋祥亮）

＊＊

【神代植物公園】

【野川公園】

【武蔵野の森公園】

1992年4月17日第三種郵便物認可（毎月３回７の日発行）

2023年4月23日発行　　SSKR通巻第9761号

新型コロナウィルス感染対策・今後のにじの会の取組み

にじの会理事長　石崎優仁

新型コロナウィルス感染症は５月８日以降、感染症法上の位置づけが「５類感染症」に移行することになりました。障害分野の各施設については、高齢者施設における対応に準じており、特に、「感染症対策の徹底・ワクチン接種の励行」「陽性者発生時の迅速な対応・周囲の集中的な検査体制の整備」は今後も継続する事となり、施設内感染防止対策が引続き必要になっています。２０２３年度のにじの会の事業運営の基本方針は、感染予防対策を重点にしながら、社会活動を積極的に進める「withコロナ時代」による運営が必要と考えています。皆様のご協力を引続き宜しくお願い致します。

＜事業運営＞

１．行事等の予定

①５月連休の帰省期間　　４月２９日～５月５日　無理のない範囲で帰省を実施します。

②一泊旅行　　５月１１日～６月１６日の期間中に３コースで５回実施予定です。

③日帰り旅行　５月２６日に山梨方面で１回実施予定です。

２．短期入所　　通所利用者と抗原検査陰性の人の利用を再開しています。

３．就労事業の営業時間　ハーモニーガーデンは火～金は１７時まで、土曜は１９時半まで営業
オーソレミオは１７時まで、大沢ハーモニーは１６時半までの営業

４．地域貢献事業　①大沢地区高齢者買い物支援事業は週３回送迎支援、週１回代行支援を実施
②三鷹市内の子ども食堂へのパン・惣菜の無償提供を月２～３回実施予定

＜検査体制＞

１．一斉PCR検査は全利用者・生活以外の役職員対象に月１回実施します。（６月まで予定）

２．生活施設職員の毎週PCR検査は都の現物支給が継続される６月末まで実施します。

３．抗原検査は、日中施設職員の定期検査と発熱者等対応や接触者の現場検査で実施します。

＜ワクチン接種＞

１．コロナワクチンの全利用者への６回目集団接種を５～６月に、９月以降に次回を実施予定

２．役職員は、必要な人につき個別接種の予定です。

３．インフルエンザ予防接種は秋に全利用者・職員対象に１～２回実施予定です。

＜感染予防策＞

１．利用者・職員の予防策の継続
①体調異常時の静養と通院しての検査受検
②家族等に感染可能性がある場合は通所を自粛
③通所・通勤時は、混雑時の時差通勤とマスク着用の徹底
④施設内ではマスク着用必須・屋外では状況判断での着用

２．外出等の注意事項
①マスク無しで感染予防策不十分な場所に行く事は避けます。
②マスク無しで大声を出す行動は避けます。
③感染のリスクがある場合は各自で検査し陰性を確認します。

３．職員の感染予防の強化
①職員の健康チェックは毎日２回実施し、異常ある時は早退し通院を徹底します。
②活動での外出等は感染リスクのない場所・方法で実施します。

以上のように手洗い励行（手指消毒）・マスク着用・３密防止・換気励行等の感染予防策を引続き守り、施設内感染を防止しながら、社会活動の再開に本格的に取り組んでまいります。

1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2023 年 4 月 23 日発行　　SSKR 通巻第 9761 号

2023 年度の基本方針と重点課題

にじの会理事会

４年目となる新型コロナウィルス感染は、数カ月ごとに感染が拡大し２カ月位で低下収束するサイクルが継続しています。感染拡大期には感染対策を重点にしながら、低下収束期には社会活動を積極的に進める「with コロナ時代」の運営が必要になっています。にじの会でも昨年は４回の施設内感染が発生しましたが、感染範囲の限定や休業・隔離期間の短縮等の対応力を向上させてきました。同時に利用者旅行の実施や「にじの会まつり」の開催を３年ぶりに再開し、利用者の社会参加や地域交流を積極的に進めました。

世界的にはウクライナ侵攻のような逆行する動きも発生していますが、基本的には持続可能な共生社会を目指す SDGs の必要性が一層高まっています。そのような状況の中で「２０３０年のにじの会のあり方」＝中期計画に基づき、SDGs の取組の強化、障害者支援力の向上、にじの会組織力の向上を中心に、以下のような２０２３年度の基本方針と重点課題を設定します。

＜環境への対応の基本方針＞

＝SDGs に資するにじの会の運営を進める。

そのため以下の重点課題に取組む。

①地球環境悪化への取組

・省エネ・再生エネルギー活用の取組

・循環型社会への取組（食品ロス削減・おから等の再資源化・ゴミの削減等）

・緑化活動の推進等

②感染症・震災等自然災害・犯罪等への対策の強化

・新型コロナ等の感染症対応力の強化

・震災・風水害時の対応力の強化（BCP、災害備蓄・福祉避難所機能）

・犯罪（侵入・情報漏洩・虐待等）対応力の強化

③地域の共生社会化への取組

・地域貢献事業（高齢者買い物送迎支援事業・子ども食堂支援事業等）の継続

・三鷹社協中心の社福ネットワーク事業での展開

＜障害者支援の基本方針＞

＝障害者の権利実現への支援と地域生活ニーズへの対応

①利用者支援の基本「寄り添う支援」の充実

・意思決定支援・社会参加支援・ICT 活用のコミュニケーション支援の充実

・生活の質の向上（入所利用者の利用サービスの拡大・余暇や食事等の向上）

・音楽・美術・運動の専門活動の充実

・人権擁護研修の継続的実施

②利用者・家族の高齢化への対応

・機能低下防止の取組・認知症対応の強化

・高齢利用者の介護保健施設利用の推進

・高齢家族の介護保険サービス利用・成年後見制度利用の推進

③重度障害者の増加への対応

・強度行動障害者支援力の向上

・生活介護技術力の向上

④地域障害者支援の強化

・地域生活支援拠点事業への参画（三鷹市―相談・短期入所）

・生活介護事業所増設への取組

・生活施設確保への取組

⑤就労支援事業充実の取組
・A 型・B 型・移行の各事業の特性明示と連携の強化
・利用者主体の事業内容の確立と事業収支の改善
⑥障害児支援内容の確立
・放課後等デイサービスの質の向上
⑦相談支援事業の強化の取組
・高齢化対応の強化
・引きこもり対応・地域生活支援の強化

＜にじの会組織運営の基本方針＞
＝法人・事業運営組織体制の向上
①今後の法人組織の確立
・業務執行理事・常務理事による実務運営体制の確立
・常務会・経営会議による集団指導力の強化
・理事会・評議員会による法定事項の適正な決定と外部との共同の推進
②事業組織体制と各事業組織・部門の人材確保
・事業組織体制の強化と運営しやすい組織づくり
・各事業組織の課題解決への取組
・各事業組織・部門の体制と人材確保
③人事制度の向上
・働きやすい労働環境の推進・女性活躍の推進
・採用力の向上とエルダー制度の定着
・研修の充実と職員育成力の向上
④業務改善と IT 化の推進
・基幹業務システムの移行・定着
・情報サーバーの活用の推進
（業務・記録の標準化とペーパーレス化の推進）
（外部発信・内部連絡等の活用）
・情報セキュリティーの向上
⑤事業収支・経営内容の改善支援力の向上
・事業収支管理力の向上（管理職）
・光熱費等インフレへの対応力向上（管理職）
・経営支援力の向上（業務部門）
⑥家族・後援会との連携の方向性
・家族との協力・連携の方向性
・後援会との連携

２０２３年度　利用者・職員計画

（事業）	（利用者数）	（職員数）
生活支援事業	８９名	５９名
日中支援事業	１０８名	５８名
就労支援事業	６２名	１９名
児童・業務等	１１名	２１名
（　計　）	１８１名	１５７名

1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2023 年 4 月 23 日発行　　SSKR 通巻第 9761 号

３月２１日事業所別学習会の報告

＜にじアート＞

3 月 21 日の学習会では国立のぞみの園が配信をしている「高齢知的・発達障害者の生活と変化」の動画を視聴しました。高齢化による身体機能や認知機能の変化にどのように対応をしてきたか、ターミナルケアの難しさなどを知る事が出来ました。南澤 OT の摂食・嚥下機能の動画やスタッフによる高齢利用者の食事支援についての動画を視聴し、食事支援時の留意点を確認しました。午後はコミュニケショーンゲームを行い、久し振りのグループワークで笑顔の多い内容になりました。また、寄り添う支援について個人ワークと発表を行い、自身の思う寄り添う支援と実際に行っている支援の振り返りを行い、内容を発表して参加者で共有を行いました。(時田秀明)

2022 年度生活介護事業支給金外出の実施状況報告

＜大沢にじの里＞

余暇活動では昨年よりも外出先が広がり社会参加の機会が増えました。外部のレストランやカフェ、お弁当を買って緑の多い公園で食べるなどコロナ禍でも今までとは違う楽しみ方ができました。館内での調理余暇や夏祭りも内容の幅が広がって、毎年楽しみにしている方もいらっしゃいます。今後も感染症対策を行いながらも新しい余暇を企画したいと思います。
（大沢生活介護　田島多恵子）

調理余暇(えがお)

唐揚げ弁当余暇(仲喜)

お花見余暇(すばる)

スターバックス余暇(園芸)

＜にじアート＞

支給金外出では感染症対策を講じながら積極的に外出企画を設けて実践してきました。室内では調理余暇や放課後ディの利用児と共に美術作品を作成後にケーキパーティを行いました。外食では近隣の釜飯屋やハーモニーガーデンだけでなく、新たな外出先として「ステーキのどん」も加わり、更に幅が広がっています。今後も外出先の開拓を進めて社会参加の拡大を図っていければと思います。　　（にじアート　時田秀明）

1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2023 年 4 月 23 日発行　　SSKR 通巻第 9761 号

（ご家族との連携）＜第 85 回施設家族連絡会―３月＞

3 月 25 日（土）14 時より三鷹産業プラザにおいて 2 会場に分かれて家族連絡会を開催いたしました。当日はご家族様 62 名のご参加をいただき、久しぶりにご家族同士の会話が弾む雰囲気の中、皆様には熱心に説明をお聞きいただきました。

全体会では法人の 2023 年度事業計画・予算等の説明、後援会会長からの活動報告、三鷹市ふるさと納税返礼品に登録しているワークショップハーモニー製品や未来工房にじ『創作夢工房』のプリントＴシャツ等の紹介と購入協力依頼を行い終了となりました。その後、大沢にじの里入所利用ご家族と各ホームご利用家族との生活懇談会が行われ、各生活部署責任者より 2023 年度の職員体制、重点課題と具体的取り組みを説明し、質疑応答を行いました。様々なご要望を伺い、今後の運営の参考にさせていただきます。なお、今回は第 2 会場の皆様には音響が乱れ大変ご迷惑をおかけしてしまい申し訳ございませんでした。

今後はコロナ対策に万全を講じつつ、家族連絡会の開催方法を 1 会場に戻して進める予定です。また、ご家族の皆様のご協力をいただきながら様々な後援会活動を再開する予定ですので、どうぞよろしくお願いいたします。　　（家族連絡会事務局　橘）

＜個別支援計画検討会議―３月＞

2022 年度個別支援計画総括と 2023 年度個別支援計画検討会議が、書面や Zoom によるリモート、対面での面談、担当者との電話などで実施されました。今回の検討会議では感染状況も落ち着いてきた事もあってか、全体的に対面での面談が昨年度よりも多かった印象を受けました。コロナ禍で日中活動の参観も無い状況で、ご家族と日中スタッフが顔を合わせる事がほぼ無く、今回が初めて担当者とご家族が顔を合わせるなどもいくつかありました。担当者も検討会議に向けて動画や写真で日頃の様子を詳しく伝えようと工夫を行っていました。総括書面からは読み取れない利用者の表情や様子などを動画等で確認でき、利用者さんがコロナの中でも楽しく活動できている様子をご家族・担当者双方で確認し合える良い機会となりました。

2023 年度は新型コロナウィルスやその他の感染症と上手く付き合いながら社会参加を積極的に進めて参ります。

＜日中活動動画配信―１月＞

今回もクリスマス会での発表動画をご家族の皆さま、ご利用者の皆様に向けて配信致しました。ご覧頂きましてありがとうございました。今後もこのような形で、日々の活動やイベントの様子を配信して参ります。また下記に改めて閲覧方法についてお知らせします。次回も宜しくお願い致します。（広報担当：大河原）

法人ホームページの「ご家族の皆様へ」を選択

工房一覧から所属されている工房を選択

パスワードを入力

動画が再生されます

1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2023 年 4 月 23 日発行　　SSKR 通巻第 9761 号

2023 年度の年間スケジュール

2023 年度の行事等の予定は以下の通りです。

◆行事予定

４月	６日（木）	ウォーキング大会
１０月２８日	（土）	にじの会まつり
１１月１７日	（金）	スポーツ大会
１２月２２日	（金）	クリスマス会
１月１２日	（金）	成人式
１月２６日	（金）	公開講座

◆宿泊旅行

５月１１日	（木）～１２日（金）	千葉①
５月１８日	（木）～１９日（金）	千葉②
６月　１日	（木）～　２日（金）	静岡①
６月　８日	（木）～　９日（金）	静岡②
６月１５日	（木）～１６日（金）	箱根

◆日帰り旅行

５月２６日	（金）	河口湖
９月２２日	（金）	山梨①
９月２９日	（金）	山梨②

◆帰省・休業期間

４月２９日	（土）～５月　５日（金）	５月連休
８月１１日	（金）～８月１７日（木）	夏休み
１２月２９日	（金）～１月　４日（木）	正月帰省

◆施設家族連絡会

９月１７日（日）　全体会（生活懇談会）

３月２３日（土）　全体会（生活懇談会）

※日中参観はリモート動画での参観とします。

『にじの会だより 85 号』　定価　50 円

発行所：特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

〒157-0072　東京都世田谷区祖師谷 3-1-17　ヴェルドゥーラ祖師谷 102 号

TEL:03-6277-9611　FAX:03-6277-9555

編集人：社会福祉法人にじの会

〒181-0015　東京都三鷹市大沢 1-6-3　TEL：0422-39-2411　FAX：0422-39-2412